

命について考えました — 「命の大切さを学ぶ教室」

7月7日(金)の午後に本校第一体育館にて、「命の大切さを学ぶ教室」が開催されました。これは、犯罪被害者遺族の講演を聴くことにより、大切な家族の命を奪われた思いと命の大切さについて理解を深め、社会全体で被害者を支える気運を醸成し、加害者も被害者も出さない社会を希求することを目的とした行事です。今回は、公益社団法人あおもり被害者支援センター理事で犯罪被害者でもある山内久子氏が講演を行っていただきました。山内氏は、平成7年に、殺人事件で当時大学3年生だった長女を亡くした犯罪被害者遺族として、犯罪被害の現状、被害者遺族としての苦しみ、被害者支援の必要性、命の大切さ、家族の絆などについて講演していただきました。講演の中で、「もう泣かないで。」「あなたの悲しさや悔しさはよくわかる。」「時間が解決してくれる。」などの何気ない言動が、被害者の心を傷つけることがあるなど、胸を打つ言葉がいくつもありました。また、涙を拭きながら聞いていた生徒の姿も見られました。講演後、生徒は各教室で感想文を記入しました。



立佞武多の準備が進んでいます！

今年も五所川原農林高校は立佞武多を運行します。今年は、源氏物語の主人公光源氏が夢で見た父、桐壺帝が亡霊として現れた龍王を描いた、「源氏物語 龍王」がテーマです。準備・運行日程は、7月28日(金)が運搬・組立て、8月4日(金)が3学年運行、5日(土)が2学年運行、7日(月)が1学年運行、8日(火)が有志による運行日(予備日)となっています。テーマ選択・設計・製作を立佞武多倶楽部の生徒たちが担当し、3年生物生産科の小野井光紀さんが中心となって、昨年の11月から取り組んできました。立佞武多の製作場所からは、お囃子の音も連日聞こえてきています。そして各学年ごとの運行当日に披露する踊りの練習も元気に行われていて、ねぶた運行への気運が学校全体で高まっています。8月の立佞武多運行をどうぞお楽しみに！



夏休みを迎えるにあたって…

夏休みは、7月22日(土)から8月27日(日)まで、途中立佞武多のための出校日や実習のための出校日をはさんで、1ヶ月あまり続きます。夏休みは、部活動、公務員対策、資格試験対策、受験勉強、アルバイトなど、みなさんが自分で設定する目標に自主的に取り組むことのできる時期です。考えただけでわくわくしてきますが、その自由さのあまり、ついだらけてほとんど何もしないで終わったり、体調を崩したりと悪い結果につながりかねない時期でもあります。宿題のOne-Weekトライアルなどは、早めにすませて、熱中症・感染症対策に気をつけながら、毎日を計画的に過ごして、良い夏休みにしましょう。2学期始業式は8月28日(月)で、基礎力診断テストも行われます。

〈裏面に8月の行事予定があります〉

8月の行事予定

月	日	曜	校 内 行 事	校 外 行 事
8	1	火		
	2	水		
	3	木		
	4	金	立佞武多(3年)	相撲部インターハイ(北海道北斗市～6日)
	5	土	立佞武多(2年)	
	6	日		
	7	月	立佞武多(1年)	
	8	火	立佞武多(有志)	
	9	水	立佞武多解体	高校生ボランティアアワード(東京都～10日)
	10	木		
	11	金	山の日	
	12	土	閉庁日(～14日)	
	13	日		
	14	月		
	15	火		
	16	水		
	17	木		
	18	金		
	19	土		
	20	日		
	21	月		
	22	火		
	23	水		
	24	木		第74回農業クラブ東北連盟大会 (岩手～25日)
	25	金		
	26	土		
	27	日		
	28	月		始業式 基礎力診断テスト
	29	火		1G 義務入寮後期開始(～10月20日)
	30	水		
	31	木		木⑤⑥ 芸術鑑賞教室